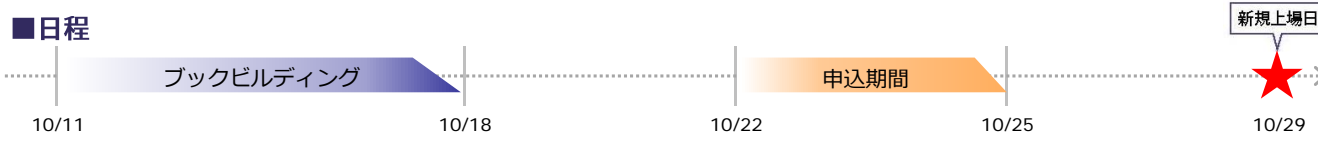


## IPO銘柄 Sapeet (269A・グロース)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件（上限PER）	主幹事証券
269A	100株	公募：14.00万株 売出：18.30万株（OA4.84万株）	1,450円～1,500円 （-）	SMBC日興証券



## Expert AIを活用したプロダクト、ソリューションを提供

## ■事業内容

Expert AIを活用したプロダクト、ソリューションの提供を行う。顧客企業のニーズに合わせたプロダクト開発・プロダクト開発支援・コンサルティング等を行うAIソリューション、自社で開発したプロダクトを顧客企業に提供するAIプロダクトの提供を行っており、これらを総称してExpert AI事業としている。AIソリューションでは、身体分析、コミュニケーションアルゴリズムがあり、AIプロダクトでは「カルティ」のブランドで、AIによる姿勢分析や改善メニューのレコメンド、体の歪みを3D技術により可視化する「シセイカルテ」、カルテの電子化によるペーパーレスに留まらず、現場で交わされる詳細な顧客情報の一元管理や顧客とのコミュニケーション最適化で売上を上げるためのカルテ「マルチカルテ」などを展開している。

## ■特徴

AI、3Dに関する技術を持ち、専門的なレレッジをAIで再現するアルゴリズムであるExpert AIによりサービスを提供。Expert AIは、AIで各領域の専門家レレッジを再現・サポートし、コア業務の価値のさらなる増幅・拡張を目指すもので、理学療法士、整形外科医、柔道整復師などのウェルネス領域の専門家、セールス領域の専門家との協同でサービス提供を行っている。

## アナリストコメント

## ■定量分析

2024年9月期の非連結経常損益は6,400万円の赤字を計画する。前期実績は1億4,700万円の赤字だった。AI、DXの市場は拡大。足元の業績は先行投資の影響で赤字が続いている。

## ■定性分析

人気のAI関連銘柄で、東大発ベンチャーとして注目度が高い。成長期待は大きいものの、業績はここまで開発費が先行して赤字続き。AI関連銘柄も上場銘柄が多く、新鮮味が低下。赤字IPOへの警戒感も強まっている。

## ■需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は5億円台。人気テーマに乗るグロース案件として軽量感が強い規模で、需給主導の初値上昇が期待できる。既存株主の多くにはロックアップ条項が付されている。（小泉 健太）

## ■類似企業

Sapeet (269A・グロース)	予想PER ー倍 (仮条件上限)
PKSHA Technology(3993・プライム)	予想PER 55.5倍
Laboro.AI(5586・グロース)	予想PER 110.2倍

## ■引受証券

SMBC日興証券、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、岩井コスモ証券、SBI証券、岡三証券、楽天証券、あかつき証券、松井証券、マネックス証券、水戸証券

## 業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常損益 (百万円)	前年比 (%)	最終損益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
22年9月期(実績)	300	47.7	-89	赤拵	-89	赤拵	-80.6	—
23年9月期(実績)	421	40.3	-147	赤拵	-147	赤拵	-132.7	—
24年9月期(会社予想)	624	48.2	-64	赤縮	-65	赤縮	-53.0	—

※24年6月に株式分割(1株→100株)を実施。22年9月期および23年9月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
22年9月期	11,111	226	-105	8	-95.0	-46.7	—
23年9月期	11,111	265	-252	8	-227.6	-95.3	—

※22年9月期および23年9月期のBPSは遡及修正

## 大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	(株)PKSHA Technology	742,300	49.49
2	築山 英治	319,000	21.27
3	日本テレビホールディングス (株)	216,000	14.40
4	コタエル信託(株)	111,100	7.41
5	村上 大昌	33,300	2.22
6	三菱UFJキャピタル9号投資 事業有限責任組合	30,800	2.05
7	松島 陽介	15,400	1.03
7	山元 雄太	15,400	1.03
9	吉山 恭平	11,100	0.74
10	尾形 友里恵	4,800	0.32

## 経営陣

役職	氏名
代表取締役社長	築山 英治
取締役 AI・DX事業本部長	尾形 友里恵
取締役 経営管理本部長	佐藤 琢治
取締役 常勤監査等委員	前山 義一
取締役 監査等委員	竹村 純也
取締役 監査等委員	三浦 千絵

# ウェルスアドバイザーIPOレポートの読み方

## 特徴

ウェルスアドバイザーIPO（※1）レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、ウェルスアドバイザーが位置する中立的な第三者としての立場からIPOに関する情報を提供いたします。ブックビルディング（※2）が始まる前にレポートを提供することにより、IPOへの参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。ウェルスアドバイザーIPOレポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間などIPO日程のほか、ウェルスアドバイザーの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

- ※1 IPO (Initial Public Offering) : 新規株式公開。
- ※2 ブックビルディング: 引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

## 項目説明

### ■ 事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

### ■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

### ■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

### ■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

### ■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

### ■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げてPERを併記いたします。PERの水準は初値の参考指標として有効です。

## 本資料のご留意事項

- ・本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- ・本資料は、SBI証券が、ウエルスアドバイザー株式会社が信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。
- ・本資料の著作権、知的所有権等一切の権利はウエルスアドバイザー株式会社に帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

## 手数料およびリスク等について

### 国内株式取引の手数料

- ・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載しておりません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

### 国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

### 留意点

- ・SBI証券が保有する株式等や主幹事担当会社の重要な開示事項（利益相反関係等）についてはSBI証券WEBサイト（[http://search.sbisecc.co.jp/v2/popwin/info/home/pop690\\_kajji.html](http://search.sbisecc.co.jp/v2/popwin/info/home/pop690_kajji.html)）をご確認ください。または、カスタマーサービスセンター（0120-104-214（携帯電話・PHSからは03-5562-7530））までお問い合わせください。
- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の取扱店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書はSBI証券のホームページで入手いただけます。

商号等：株式会社SBI証券 金融商品取引業者 登録番号：関東財務局長（金商）第44号 加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
---